

2017年度

日仏社会学会大会プログラム

10月28日(土)

会場

一橋大学国立キャンパス  
佐野書院 応接室(大会議室)

(東京都国立市中2-1)

共催：一橋大学大学院社会学研究科

<参加要領>

1. **大会参加費** 大会運営のため参加費 1,000 円を申し受けます。  
非会員の方の参加も歓迎いたします。
2. **懇親会** 懇親会にご出席の方は会費 5,000 円を大会受付でお納め下さい。

会場：佐野書院第一室(サンルーム)

開催時間：17:15～19:15

お問合せ 日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com

<連絡事項>

- \* 大会および懇親会のご出欠を10月14日(土)までにお知らせください。  
(連絡先：日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com)

- \*2017年度会費の納入をお願いいたします。

郵便振替 00960 6 278804 口座名 日仏社会学会

〈タイムテーブル〉

09 : 30 受 付

10 : 00 開 会 の 辞 荻野昌弘（日仏社会学会会長・関西学院大学）

10 : 05-12 : 10 自由報告

司会 大前敦巳（上越教育大学）

1. 20 世紀知性史の中のピエール・ブルデュー

——若き日の理論形成過程に注目しつつ

櫻本陽一（日本大学）

2. 「多様性」から考えるフランスの移民教育

原岡蓉子（東京情報大学大学院）

3. 高学歴者における学歴インフレの日仏構造比較

藤本昌代（同志社大学）

4. 宮古島の物質と記憶

藤谷忠昭（相愛大学）

5. フランスの科学研究におけるジェンダーの非対称性

——Dr. Marthe Goutier の盗まれた功績と 21 トリソミーの発見

山本由美子（大阪府立大学）

12 : 10-13 : 10 昼 休 み （理事会：第二室）

13 : 10-13 : 45 総 会

13 : 45-16 : 45

シンポジウム マルセル・モースと現代

司会 岡崎宏樹 (神戸学院大学)

13 : 45-13 : 50 趣旨説明 岡崎宏樹

13 : 50-15 : 10 報告

報告1 「制度の狭間」で考える——MAUSSの「贈与論」解釈を通じて——  
古市太郎 (文京学院大学)

報告2 文脈と依存から贈与を捉え返す——アドボカシーと連帯の視角から——  
林大造 (追手門学院大学)

報告3 贈与の葛藤を調停する——義務的であり自発的であることの意味——  
藤吉圭二 (追手門学院大学)

15 : 10-15 : 25 休憩

15 : 25-16 : 05 討論  
コメンテーター  
山泰幸 (関西学院大学)・濱西栄司 (ノートルダム清心女子大学)

16 : 05-16 : 40 全体討論・質疑応答

16 : 40-16 : 45 まとめ 岡崎宏樹

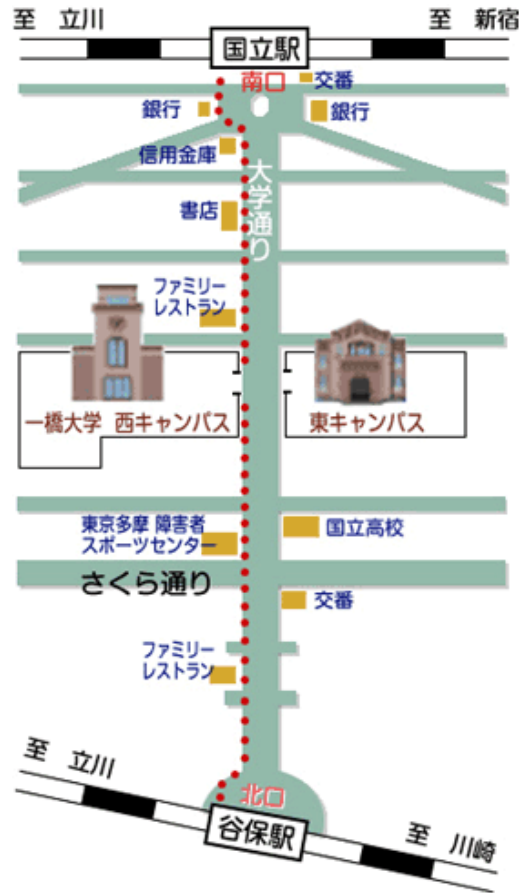
16 : 45 閉会の辞 菊谷和宏 (一橋大学)

17 : 15-19 : 15 懇親会 佐野書院第一室 (サンルーム)

## アクセス

### 一橋大学国立キャンパス

最寄り駅は JR 中央線国立駅です。駅南口を出て大通りを直進するだけの簡単な道順です（徒歩 10 分）。<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/kunitachi.html>



会場となる佐野書院の場所は下記 URL にありますキャンパスマップの 26 番です。  
<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/>

※ご注意ください！

会場となる佐野書院はキャンパスの敷地外です！ 西キャンパス南（下）側に道を挟んで隣接しています。

キャンパスマップでは、西キャンパス内を通ってたどり着けるようにも見えますが、実は道は通じていません。JR 国立駅南口から大学通りを南に進み、西キャンパス正門を通り過ぎてさらに 150m ほど進んで下さい。すると西（右）に曲がることのできる小さな道がありますので、その道に入り（この角に、目立ちませんが佐野書院への案内標識があります）、80 メートルほど進むと道の南（左）側に佐野書院があります。分かりづらいため案内の学生を配置するつもりですが、ポイントは、キャンパスに入らず「正門を通り過ぎる」ことです。

## 昼食について

大学通り沿いを筆頭に、大学-国立駅間にたくさんお店があります。